

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
61057 61020	教職論 (A) (B) 教職研究 (A) (B) (A) : 前期・月曜・1限 (B) : 後期・火曜・1限	各2単位 前・後期	2	講義	大城 進 (非)

■テーマ

現代社会における教職の意義や教員の役割、教員の資質能力及び職務内容等について理解を深め、教職への意欲を高めると同時に、教職へ就くための心構えを養う。

■授業概要

この授業は、「教職課程コアカリキュラム」における「教育の基礎的理解に関する科目」の一つであり、教職を志望する学生にとっては最初に受講する科目である。講義を通して、教職というものを多角的に見る目と深く問うていく姿勢を養うことを目標とする。その際、教職を考えるうえで核となる知識や概念を学校や教師の現実に即して論じていく。講義に加えてビデオ視聴やグループ討議、発表なども行う予定である。教員の役割・資質能力・職務内容等を理解し、受講者が自ら志望した教職への意欲を高めつつ、自分自身が近い将来に何をすべきか、自身がどうあるべきかを考える主体的、積極的、協働的な学び手、将来の実践者となっていくための基礎を身につけることを目指す。なお受講にあたっては、受講者の授業への積極的な参加を求める。

■到達目標

- (1) 教職の職業的特徴、社会的意義と教員に求められる資質能力を理解している。
- (2) 教員の職務内容やサービス、研修、生涯学び続けることの意味、チームとしての学校内外の専門家等との協働・連携や家庭・地域との連携等について理解を深めている。
- (3) 教職の魅力と困難について理解を深め、教師に求められる基礎的資質を考察すると共に自己の適性等について顧み、進路選択の機会としてこれから何をどうしていくか、見通しを持つことができる。

■授業計画・方法

第1回：オリエンテーション～授業の概要説明と学習上の注意、教員免許取得の意義～

第2回：教職とは何か① 学校教育と教師について

第3回：教職とは何か② 職業的特徴と他の職業との違い

第4回：教師像を探る① 教師像の変遷と社会が求める教師像（国・県・学校・子ども）

第5回：教師像を探る② 専門職としての教師と専門性を高める仕組み（教員免許法）

第6回：教師の役割① いつの時代も求められる資質能力

第7回：教師の役割② 今後特に求められる資質能力

第8回：教師の仕事① 教科（学習）指導と学習指導要領、試験

第9回：教師の仕事② 生徒指導と役割分担、チーム学校・協働

第10回：教師の仕事③ 学級（HR）経営と学年連携

第11回：教師の仕事④ 特別支援教育とインクルーシブ教育

第12回：教師の仕事⑤ 校務分掌と組織としての学校

第13回：教員研修とサービス並びに身分保障

第14回：家庭・地域との連携並びに学校の役割

第15回：講義のまとめ 教職の意義と求められる教師の姿、試験。

※第8回及び第15回の授業時でペーパーテスト（もしくは期末レポート）を実施する。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

平成29年度以前入学生は、教育原理を履修済みであること。平成30年度以降の入学生は教育原理を受講すること。

授業外においてもテキスト等を用いて、授業の復習も含めシラバス内容から判断し予習に努めて下さい。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（合計30%：授業への参加度、小レポート提出状況等）・毎回の小レポート（20%）、グループワークの結果（10%）、定期試験（ペーパーテスト（20%）もしくは期末レポート（20%））（合計40%）。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 武田明典編著『教師と学生が知っておくべき教育動向』北樹出版、2017年

□テキスト・参考文献等 上記教科書の内容を含め、各時間の内容に関わる参考文献等は随時配布する。

中教審答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について（平成27年12月21日）」、他。